

平成25年度

収支

平成25年度決算では一般会計で2億822万円の黒字。

町税の収入状況

町税収入未済額 5103万4千円、不能欠損は387万円。

収納の取り組みとして分割納付者の管理を強化、臨戸徴収を実施した。また、滞納処理も徴収の努力の跡がうかがわれ、現年分徴収率99.0%。滞納繰越分の徴収率を34.7%（5.8Pアップ）と上げた。

町債(借金)・基金(貯金)

借金残高は約50億9175万円で、町民一人当たり約34万8千円。
基金(貯金)は、9600万円を積立て、35億7644万円となった。

25年度一般会計主な事業

大木町防災情報伝達システム整備事業

2203万円

小中学校空調整備設置工事

7940万円

大溝小学校改築・配管修繕・防球ネット設置工事

2678万円

活力ある高収益型園芸産地育成事業

2751万円

舗装補修工事(グリーンベルト等)

8852万円

25年度特別会計・水道事業会計決算状況

全員賛成で可決

国民健康保険	………(歳入)	17億3056万円	(歳出)	17億4817万円
後期高齢者医療	………(歳入)	1億4520万円	(歳出)	1億3665万円
水道事業会計	…(収益的収入)	2億1660万円	(収益的支出)	2億2239万円
	(資本的収入)	617万円	(資本的支出)	2102万円

平成25年度

大木町一般会計特別会計 監査意見書

各会計決算、基金及び付属書は、適正であると認める。地方自治体の財政逼迫が広がる中、事業の効率化および経費の節減を図られ、財政健全化に努められたことは評価できるが、今後も厳しい財政運営が想定されるため、健全で持続可能な財政基盤の強化に向け一層努力されることを望む。

また、少子高齢化の進展、厳しい社会経済情勢の中で、豊かで暮らしやすい大木町の実現のため、将来世代への過大な負担を残すことがないよう、今後の事業実施にあたっては、引き続き費用対効果の観点から検討と改善を加え、重要な施策・課題に積極的に取り組み、各課の連携を図りながら適切に対処し、住民福祉の向上に努められるよう切望する。

代表監査委員 川村 和正